



# 令和2年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和元年11月13日

上場会社名 株式会社ロジネットジャパン  
コード番号 9027 URL <http://www.loginet-japan.com/>

上場取引所 札

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 輝美

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画管理本部長 (氏名) 橋本 潤美

TEL 011-251-7755

四半期報告書提出予定日 令和元年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和2年3月期第2四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年3月期第2四半期	32,491	12.7	1,930	28.5	1,934	28.9	1,308	31.5
31年3月期第2四半期	28,828	6.4	1,502	16.8	1,500	16.7	994	8.3

(注) 包括利益 2年3月期第2四半期 1,251百万円 (17.4%) 31年3月期第2四半期 1,065百万円 (17.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年3月期第2四半期	215.33	
31年3月期第2四半期	163.06	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年3月期第2四半期	32,470	12,943	39.1
31年3月期	31,687	12,143	37.6

(参考) 自己資本 2年3月期第2四半期 12,697百万円 31年3月期 11,919百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
31年3月期				42.00	42.00
2年3月期					
2年3月期(予想)				47.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	3.6	3,350	6.3	3,300	5.3	2,140	3.4	350.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年3月期2Q	7,010,681 株	31年3月期	7,010,681 株
期末自己株式数	2年3月期2Q	1,006,441 株	31年3月期	910,305 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年3月期2Q	6,075,712 株	31年3月期2Q	6,100,459 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績及び計画等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(表示方法の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の継続的な改善が見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。度重なる台風や大雨などの自然災害による影響や、海外における経済・政治情勢が不安定であることなどから、引き続き先行きは不透明な状況となっております。物流業界においても、運賃単価の引き上げなどによる収益改善の動きはみられるものの、人材確保のための労働環境の改善や原油価格の高止まりなどコスト負担は増加しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは本年度からスタートした中期経営計画に基づき、地域別の将来を見据えた事業展開を進め、EC事業や長距離幹線輸送サービス「R&R」の拡販など魅力的なロジスティクスサービスの開発・提供を行ってまいりました。また、IT投資や業務改善による生産性向上を推進するとともに、人材投資を積極的に行う方針の下、時代の変化に合わせた働き方や採用方法の構築を行い、労働環境の改善を図るなど、将来を見据えた取組みを進めてまいりました。

その結果、札幌通運グループにおいては、本州地区を含む新規事業の取扱増加や引き続き適正運賃の収受を推進したことなどにより、営業収益は前年同期比21億5千7百万円増(+15.2%)の163億4千4百万円、セグメント損益については、上記に加え低採算事業の見直しを実施したことなどにより、前年同期比1億8千1百万円増(+46.3%)の5億7千2百万円となりました。

一方、ロジネットジャパン東日本グループにおいては、新規事業の取扱増加により、営業収益は前年同期比6億3千7百万円増(+6.0%)の111億8千8百万円、セグメント損益については前年同期比6千4百万円増(+8.2%)の8億5千2百万円となりました。

また、ロジネットジャパン西日本グループにおいては、新規事業の取扱が増加したことにより、営業収益は前年同期比8億5千5百万円増(+22.8%)の46億7百万円、セグメント損益は前年同期比8千2百万円増(+33.9%)の3億2千6百万円となりました。

これらの結果、当社グループ全体の営業収益は、前年同期比36億6千2百万円増(+12.7%)の324億9千1百万円となりました。営業利益は前年同期比4億2千8百万円増(+28.5%)の19億3千万円、経常利益は前年同期比4億3千3百万円増(+28.9%)の19億3千4百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比3億1千3百万円増(+31.5%)の13億8百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の総資産は、前期末から7億8千3百万円増加し、324億7千万円となりました。

このうち、流動資産は5億7千7百万円増加し、112億5千3百万円となりました。また、固定資産は車両の取得などにより2億5百万円増加し、212億1千6百万円となりました。

当第2四半期末の負債は、前期末から1千7百万円減少し195億2千7百万円となりました。

このうち、流動負債は2億8千2百万円減少し、158億3千5百万円となりました。また、固定負債は2億6千5百万円増加し、36億9千1百万円となりました。これらの主な要因は、借入金の増加と未払金の減少によるものです。

これらの結果、純資産は8億円増加し129億4千3百万円となり、純資産から非支配株主持分を控除した後の自己資本比率は39.1%となりました。

#### キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは5億3千8百万円の収入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ収入が12億8千万円減少しました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が19億3千5百万円あったものの、売上債権の増加及び未払金の減少により、収入が減少したものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは11億1千6百万円の支出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ支出が1億9千3百万円増加しました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が2億3千5百万円増加したことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは4億8千5百万円の収入（前第2四半期連結累計期間は10億6千9百万円の支出）となりました。これは主に、前第2四半期連結累計期間に比べ借入金の収支が17億4千2百万円増加したことによるものであります。

以上により、当第2四半期末における現金及び現金同等物は3億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ9千2百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、令和元年5月13日発表値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	422,388	329,757
受取手形	682,140	899,365
営業未収入金及び売掛金	8,170,007	8,837,669
たな卸資産	105,003	91,554
その他	1,303,209	1,101,074
貸倒引当金	△6,415	△5,489
流動資産合計	10,676,334	11,253,932
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	3,407,050	3,430,741
機械装置及び運搬具(純額)	6,337,214	6,743,520
リース資産(純額)	569,035	502,543
土地	6,444,468	6,455,233
その他(純額)	509,934	511,262
有形固定資産合計	17,267,704	17,643,302
無形固定資産	262,784	286,655
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	1,134,946	987,176
繰延税金資産	336,140	368,621
差入保証金	1,532,878	1,457,272
その他	485,361	482,086
貸倒引当金	△8,595	△8,279
投資その他の資産合計	3,480,730	3,286,877
固定資産合計	21,011,219	21,216,836
資産合計	31,687,554	32,470,768

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	805,352	293,826
営業未払金及び買掛金	5,252,347	5,475,237
短期借入金	5,480,895	6,190,305
リース債務	187,364	183,034
未払法人税等	583,237	632,102
役員賞与引当金	96,800	-
その他	3,712,004	3,061,082
流動負債合計	16,118,002	15,835,589
固定負債		
長期借入金	2,180,799	2,476,317
繰延税金負債	184,186	201,725
リース債務	397,896	334,152
役員退職慰労引当金	191,880	221,660
退職給付に係る負債	219,711	231,161
資産除去債務	19,810	11,750
その他	231,908	214,755
固定負債合計	3,426,191	3,691,521
負債合計	19,544,194	19,527,111
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	592,584	592,584
利益剰余金	11,071,392	12,123,483
自己株式	△543,498	△735,579
株主資本合計	12,120,478	12,980,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△201,271	△282,575
その他の包括利益累計額合計	△201,271	△282,575
非支配株主持分	224,153	245,744
純資産合計	12,143,360	12,943,657
負債純資産合計	31,687,554	32,470,768

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)
営業収益	28,828,528	32,491,147
営業原価	26,186,986	29,196,778
営業総利益	2,641,541	3,294,369
販売費及び一般管理費	1,138,706	1,363,384
営業利益	1,502,835	1,930,984
営業外収益		
受取利息	4,931	4,093
受取配当金	24,767	31,238
寮収入	26,553	25,827
その他	38,927	52,797
営業外収益合計	95,179	113,956
営業外費用		
支払利息	23,933	27,180
寮支出	55,547	59,244
その他	17,618	23,803
営業外費用合計	97,100	110,227
経常利益	1,500,914	1,934,713
特別利益		
固定資産売却益	1,040	-
投資有価証券売却益	-	2,781
特別利益合計	1,040	2,781
特別損失		
固定資産除売却損	8,092	2,491
災害による損失	25,418	-
特別損失合計	33,510	2,491
税金等調整前四半期純利益	1,468,444	1,935,003
法人税、住民税及び事業税	473,469	616,692
法人税等調整額	△24,159	△14,286
法人税等合計	449,309	602,406
四半期純利益	1,019,135	1,332,597
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,405	24,290
親会社株主に帰属する四半期純利益	994,729	1,308,306

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
四半期純利益	1,019,135	1,332,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46,740	△81,303
その他の包括利益合計	46,740	△81,303
四半期包括利益	1,065,875	1,251,294
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,041,463	1,227,003
非支配株主に係る四半期包括利益	24,412	24,290

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,468,444	1,935,003
減価償却費	746,830	824,410
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△748	△1,242
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△94,650	△96,800
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	17,261	11,450
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,580	29,780
受取利息及び受取配当金	△29,698	△35,331
支払利息	23,933	27,180
有形固定資産売却損益 (△は益)	△5,135	△5,430
有形固定資産除却損	10,433	14,325
災害による損失	25,418	-
売上債権の増減額 (△は増加)	119,735	△884,886
未収入金の増減額 (△は増加)	32,847	△47,473
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△13,902	13,449
仕入債務の増減額 (△は減少)	△57,096	△288,636
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△21,950	△93,801
未払金の増減額 (△は減少)	289,050	△480,294
その他	△129,468	182,582
小計	2,383,883	1,104,285
利息及び配当金の受取額	49,217	35,331
利息の支払額	△43,609	△27,809
法人税等の支払額	△571,312	△573,785
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,818,178	538,022
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△987,009	△1,222,938
有形固定資産の売却による収入	51,276	14,910
無形固定資産の取得による支出	△57,897	△52,386
投資有価証券の取得による支出	△2,532	△3,246
投資有価証券の売却による収入	115	71,568
貸付けによる支出	△2,600	△3,130
貸付金の回収による収入	3,294	2,593
差入保証金の差入による支出	△20,514	△17,755
差入保証金の回収による収入	101,648	93,361
その他の支出	△9,236	△5,066
その他の収入	348	5,277
投資活動によるキャッシュ・フロー	△923,106	△1,116,810
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000	785,207
長期借入れによる収入	500,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△937,893	△780,279
リース債務の返済による支出	△108,916	△68,073
自己株式の取得による支出	△162	△192,081
配当金の支払額	△219,616	△256,215
非支配株主への配当金の支払額	△3,243	△2,700
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,069,831	485,857
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△174,759	△92,930
現金及び現金同等物の期首残高	573,190	422,188
現金及び現金同等物の四半期末残高	398,430	329,257

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

前第2四半期連結累計期間において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「未収入金の増減額(△は増加)」は、金額の重要性が増したため、当第2四半期連結累計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた△96,621千円は、「未収入金の増減額(△は増加)」32,847千円、「その他」△129,468千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	札幌通運 グループ	ロジネット ジャパン東日 本グループ	ロジネット ジャパン西日 本グループ	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	14,187,519	10,551,073	3,752,200	28,490,794	337,734	28,828,528
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,115,953	3,514,526	1,157,854	6,788,334	1,010,463	7,798,797
計	16,303,473	14,065,599	4,910,055	35,279,128	1,348,197	36,627,325
セグメント利益	391,446	788,052	243,498	1,422,997	503,914	1,926,911

(注) 「その他」は、持株会社である当社の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金及び経営指導料であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は429,486千円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,422,997
「その他」の区分の利益	503,914
受取配当金の消去	△429,486
その他の調整額	5,410
四半期連結損益計算書の営業利益	1,502,835

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	札幌通運 グループ	ロジネット ジャパン東日 本グループ	ロジネット ジャパン西日 本グループ	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	16,344,586	11,188,692	4,607,826	32,141,106	350,041	32,491,147
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	2,520,450	4,575,087	1,742,747	8,838,285	1,544,864	10,383,149
計	18,865,037	15,763,779	6,350,574	40,979,391	1,894,905	42,874,297
セグメント利益	572,626	852,856	326,157	1,751,640	746,948	2,498,588

(注) 「その他」は、持株会社である当社の営業収益及びセグメント利益であります。営業収益は本社ビルの賃貸収入、飲料水の販売収入、グループ会社からの受取配当金及び経営指導料であり、受取配当金がセグメント利益に与える影響額は556,224千円であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,751,640
「その他」の区分の利益	746,948
受取配当金の消去	△556,224
その他の調整額	△11,379
四半期連結損益計算書の営業利益	1,930,984

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は平成31年4月1日をもって本州地区での事業シナジー追求と業務の省力化、また機能分担を目的とし、連結子会社である札幌通運株式会社及び中央通運株式会社の事業の一部を会社分割(吸収分割)し、同じく連結子会社である株式会社ロジネットジャパン東日本へ継承する組織再編を行いました。

第1四半期連結会計期間より、この組織再編に伴い、従来「札幌通運グループ」に属していた札幌通運株式会社の本州地区の事業及び「中央通運グループ」に属していた事業を「ロジネットジャパン東日本グループ」に移管しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。